

和歌山電鉄沿線 うろうろ記



ふちんかん

猫駅長とラッピング電車がクローズアップされる和歌山電鉄であるが、普通の地方ローカル鉄道という側面も忘れてはならない。ということで鉄道研究会の本懐を遂げるべく、周辺をふらつき、観光と鉄道写真の撮影にいそしんできたので紹介したいと思う。

〔甘露寺前〕駅

取材陣といったん別れ、猫駅長のいる終点・貴志駅から甘露寺前駅へ歩いてみる。踏切を渡ると駅前のお猫様喧噪が嘘のように静かである。軽トラックが通れる程度の路地と平屋の住宅をつなげる未舗装の道など、どこにでもある地方の集落風景となる。駅でもらった絵地図とGPSモバイル機器を武器に平池緑地公園をめざす。

集落もすぐに途切れ、今度は肥やしの香りが春の風に乗って鼻をくすぐる。

30分近くぶらぶらと歩いて平池に到着。

平池は灌漑用の人工池で和歌山県三大用水池だそうだ。池の周辺は4つの古墳があり、「紀州の飛鳥」ともよばれているらしい。偶然ではあるが私は1週間前に家族で飛鳥に行ってきたこともあり、今回の取材で訪れたい場所の一つであった。平池古墳群は、亀石や石舞台といった奈良の飛鳥のような派手な観光地ではないが、古墳の墳丘部を利用した緑地が地域のお出かけスポットになっているようだ。地元民と思われる女の子グループがレジャーシートを広げてお弁当やお菓子を食べながらお喋りをしており、ほほえましく思った。





周辺はキショウブが群生している。野鳥観察のスポットとしても有名ならしい。

私もここで昼食。池の眺めの良いベンチに腰掛け、和歌山駅で買ったおこわ弁当を食べることにする。既に冷めているしコンビニ弁当と大差のない内容ではあるが、陽はうららかで若干冷たさを残す春の風が心地よい。思えば一人で穏やかに食事というのは実に久しぶりである。時間に追われていたり、子どもや生徒の世話をやいたり、手本となる食べ方を意識したり……。今日はフリーである。どんな順番で箸をつけようが、意地汚い食べ方をしようが、誰はばかることもないのだ。思えば今回の取材で私はやたらと単独行動を主張していたのも、実は一人になりたかったからなのかもしれない。

食事を終えて平池のまわりをオニバスやカモを眺めつつ歩く。池から離れ、小さな集落を抜けるとすぐに甘露寺前駅。

次に鉄道写真を撮るべく駅を通り過ぎ、駅周辺をぐるりとまわる。平池とは反対側の池を前景に決めイチゴ電車を撮影。



〔大池遊園〕 駅

大池遊園は周囲 4 kmの大池を中心とした公園。春になると**1,000本**の桜が咲き誇り観光客で賑わうらしい。取材時は5月だったので、桜は若葉の状態。もちろん観光客は皆無であったが、釣り人はあちこちで見かけた。

ここはテツにとっては和歌山電鉄一番の撮影スポットである。



緑の中、真っ赤なおもちゃ電車が走る様を撮影したかったが、この日はあいにく日中には運用が無く、南海塗装、たま電車、イチゴ電車を撮影した。

ただ今後も和歌山電鉄にラッピング電車が増えるとなると、ノーマルの南海塗装車は無くなるかもしれない、一枚目の写真は貴重になるかもしれない。



〔伊太祈曾〕 駅

この日は日曜日であったため、にたま駅長は貴志駅へ出張していた。駅長不在であったが代わりにヒトが何人もいて業務に携わっていた。

伊太祈曾駅周辺は、熊野古道も通り、伊太祈曾神社という大きな社も抱える和歌山電鉄沿線の中心地である。

この駅で取材陣と再合流。主のいない駅長室を眺めたあと、伊太祈曾神社へ。

伊太祈曾神社は紀伊国一之宮である。ちなみに沿線の日前宮もあわせ、紀伊国には一之宮が3つある。だからといって有効成分が3分の1になるわけでもなく、由緒ある神社であることに間違いはない。

祭神は五十猛命（いたけるのみこと）、日本各地に木種を蒔いたと言われている、「きのくに」らしい神様である。



太鼓橋を渡って
本殿へ。



立派な社殿である。

ご神木の穴をくぐると厄除けになるという「木の俣くぐり」があったので、やってみる。腹がつかえたらどうしようという不安もよぎったが、何とかクリアした。



チェーンソーによる一刀彫り、チェーンソーカービングの展示もあった。



珍しく賽銭代わりに
お守りを買ってみた。



話は変わるが、この神社の周辺は森になっており、薄暗い小径がある。森の中の小径なので左右は地層が見えているのだが、その地層が何とも奇妙であった。色、模様は朽ちた木のようにであり、触ってみると、これも朽ち木のように割けて砕ける。しかしさらに力を入れて押しつぶすと手で触っても粒が確認できないくらい細かく（泥に）なるのだ。本当の木であれば繊維質があり、ここまで細かくはならない。だから土（泥）であることに間違いはないのだが、どう見ても朽ち木……。

これはいったい何なんだ？



取材を終え、帰ってから調べてみたもののよく分からなかった。しかしネットの質問箱に書き込みをしたら、いくつかの返答があり、

『泥質が強い圧力を受け、結晶が層状に並んだ状態になりかけたところ（弱変成）で変成が止まり、その後風化が進んだもの』ではないかという結論に達しました。

ありがとうございました。> 回答者の皆様 便利な世の中ですな。





〔交通センター前〕駅

最後の取材地となる。ここには運転免許試験場へのアクセス目的で作られた駅で和歌山電鉄ではもっとも新しい駅である。

併設して交通公園がある。教習所のコースのような疑似交差点があったり、バッテリーカーがあったりとお子様向けの公園である。

昔、南海の平野線で走っていたチンチン電車が静態保存（というより野晒しに近い）されており、見学をした。



ちなみに車内の運転席でハンドルを握る子どもに、父親が口まねでVVVFのエンジン音を聞かせていた。このミスマッチが妙に私のツボにハマってしまい、しばらく頭の中でリフレインしていた。



貞子らしい→
最近Yさんも色々
芸を覚えましたね。



〔和歌山〕駅

最後は始点の和歌山駅。駅地下の丸美商店にて和歌山ラーメンで締めです。豚骨醤油系のこってりタイプは私の好みで、チャーシューも美味で良かった。



以上 うろうろ記 終わり